

ブライワックスの塗り方（オリジナル&トルエン・フリー）

注意点・ポイント

- ・本製品は水や熱に強くありません。頻繁に水拭きをされる場所や、高温になる場所へのご使用はおすすめできません。
- ・蜜蝋（ミツロウ）を主成分にしているため、乾燥後も表面は完全に硬化しません。テーブルや椅子に塗装した場合、衣服が擦れると色移りが起こることがあります。
- ・本来はペースト状ですが気温が20度以上になると液体化します。塗りにくい場合は「涼しい部屋に置いておく」「冷蔵庫で冷やす」などしてペースト状に戻してからお使いください。
- ・樹種によって色の付き方が異なります。目立たない部分や同じ木材の端材などを利用して、事前に着色のテストを行ってください。
- ・ペンキ、オイル、ニスなどで既に塗装されている表面や木目がプリントされた合板には塗装できません。
- ・仕上げ塗料ですのでワックスの上から他の塗料を塗ることはできません。



準備

予め塗装する木材の塗装面の汚れやホコリをきれいに取り除いてください。

※ステップ3とステップ4は、より美しく仕上げるための工程ですので省略可能です。



1 サンディング

木目に沿って紙やすりをかけます。ヤスリの番手を粗い目（～＃180）からはじめ、細かい目（＃240～）へ段階的に削ることで、汚れを削ると共に、表面を滑らかにし、仕上がりを美しくします。



2 掃除

ヤスリがけによって生じた木屑をブラシや、布で取り除きます。



3 水性ステインによる着色 省略可

予め木材に色を付けて木目を強調しておく、ワックス塗装後により奥行きのある仕上がりになります。ここではブライワックス・ウォーターベース・ウッド・ダイを使用。



4 シーラー塗装 省略可

ブライワックス・シェラック・サンディング・シーラーは、木材の微細な穴を塞ぎ、表面を平滑にするため、ワックス塗装後の色ムラを抑えることができます。※ワックスの着色自体は控えめになります。



5 ワックス塗装

ブライワックス・スチール・ウール（＃0000）、または着古したTシャツ（ウエス）などを使用し、木目に沿ってワックスを擦り込むように塗ります。ブライワックス・オリジナル・ワックスを使用。



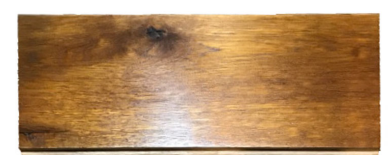
6 ブラッシング

季節や環境によりますがワックスは15～30分程度で乾燥します。乾いたら固めのブラシやたわしなどでごしごしとしっかり擦って定着させます。ツヤが出るまで続けてください。この時、磨きが足りないと色移りの原因となります。



7 乾拭き

最後にきれいな乾いた布で表面を軽く拭きます。



完成

しっかりと着色され、じんわりとした美しいツヤが出ました。色が薄く感じる場合はステップ5に戻り、再度塗装と磨きを行ってください。

メンテナンス・・・最初に使用したワックスよりも、薄めの色のワックスを使用してください。

注意事項

- ・吸引は有害です。使用中・乾燥中は最大限の換気をしてください。
- ・強可燃性です。作業中は火器や高温のものを絶対に近づけないでください。
- ・塗料の付いたスポンジや布類は、自然発火を起こす可能性がありますので水につけてから破棄してください。
- ・皮膚や目につけないでください。もしついてしまった場合は大量の水と石鹼、または適切な洗浄剤で洗い流してください。
- ・もし飲み込んでしまったときは、早急に医師に本製品を見せ指示を仰いでください。
- ・よくフタをし、風通しが良く、子供の手の届かない所に保管して下さい。

ブライワックスの塗り方
動画はこちら →

